

# 木繊維吹込み用断熱材の

# 本格的な輸入販売決定

## シュタイコ製品の在庫・物流力強化も

イケダコーポレーション（大阪市、池田佐知社長）は今秋にも、木繊維（ウッドファイバー）の吹き込み用断熱材「STEICO Zeer」（シュタイコゼール）の輸入販売を開始する。同社によれば、木繊維を用いた吹き込み用断熱材の輸入での本格的な取り扱いが日本で初という。

「シュタイコプロテクト」の見本品。断熱材を商品群に加え、エコロジー建材の提案力が増した

同社は2019年から、ドイツ・シュタイコの総輸入代理店として木繊維断熱材の試験販売を開始。日本国内で在庫販売体制を整え、20年初から本格販売に乗り出した。取扱品目は、内装用「シュタイコフレックス038」と外断熱用「シュタイコプロテクト」の2品目。製品は、FSC、PEFC認証取得のトウヒを原料としており、持続可能性（サステナビリティ）と性能が

## イケダコーポレーション

両立する製品として、ドイツをはじめ欧州の断熱材市場でシェアを確立している。

同社はセミナーの開催などにより、製品特性の訴求や製品認知度を高める一方、国内の在庫・物流力を強化してきた。

シュタイコは、荷姿のかさばることが物流面でのハンデと捉えられることがある。だが、イケダコーポレーションはこれが木材の荷姿に近いと捉え、木建ルートの物流力が生かせると考えている。「流通の差別化だけでなく、商品の独自性が、販売店などにとつて差別化につながるのではないか」（同社）

と期待する。

同社では、こうした点を訴求しながら、北海道を除く全国で、在庫・物流を担う販売代理店を募集し、供給体制を一層強化していきたい考えだ。

さらに、シュタイコの吹き込み用断熱材の輸入販売を決定。シュタイコ製品の拡充につ

ながるだけでなく、市場ニーズへの対応力を高めていく。

また、シュタイコの断熱材の取り扱い拡充は、同社にとっても新たな製品群が加わる形となる。

同社は、自然健康塗料「リポス」や天然スイスしつくい「カルクウォール」、ウッドチッ

プと再生紙を原料にした天然壁紙「オガファザー」の3品目に特

化し、エコロジー建材専門商社としての地位を確立してきた。9月で創立30年を迎える今回これにシュタイ

コの断熱材が加わり、壁体内から壁面など、住宅内部すべての提案体制が整った格好だ。